

「2017年第6回村上春樹国際シンポジウム」プログラム

テーマ 村上春樹文学における「魅惑」(Charm)

期 日：2017年7月8日-10日(3日間)

場 所：(日本)同志社大学今出川キャンパス

一日目 2017年7月8日(土曜日)

0840-0900	受付【良心館 RY318 前】				
0900-0920	開幕式(良心館 RY304) 曾 秋桂(淡江大学教授兼村上春樹研究センター長・台湾日本語教育学会理事長) 横川 隆一(同志社大学副学長) 頼 振南(輔仁大学教授兼学部長・台湾日本語文学会理事長・国際医療翻訳協会理事長) 山内 信幸(同志社大学教授兼学部長・日本比較文化学会副会長)				
0920-1000	基調講演(1)(良心館 RY304) 司会 頼 振南(輔仁大学教授兼学部長・台湾日本語文学会理事長・国際医療翻訳協会理事長) 講演者 宮坂 覺(フェリス女学院大学名誉教授) 演題 村上春樹と芥川龍之介 —〈闇〉〈沈黙〉の「魅惑」、近代文学における一つの水脈—				
1000-1010	ティータイム(良心館 RY319)				
1010-1050	基調講演(2)(良心館 RY304) 司会 頼 錦雀(東呉大学教授・台湾日本語教育学会理事) 講演者 金水 敏(大阪大学教授) 演題 役割語・キャラクター言語の観点から見た村上春樹作品と翻訳 —『海辺のカフカ』『1Q84』を中心に—				
1050-1100	ティータイム(良心館 RY319)				
1100-1205	論文口頭発表(1)				
	第1セッション	第2セッション	第3セッション	第4セッション	第5セッション
	RY408	RY409	RY410	RY411	RY412
1100-1105	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	内田 康 淡江大学 助理教授	盧 明姫 東国大学校 教授	小林 由紀 東呉大学 兼任助理教授	落合 由治 淡江大学 教授	高橋 龍夫 専修大学 教授
1105-1125	発表者 01	発表者 03	発表者 05	発表者 07	発表者 09
	奥田 浩司 愛知教育大学 准教授	頼 錦雀 東呉大学 教授	大野 建 福島大学 博士課程前期	王 静 名古屋大学 博士研究員	荻原 桂子 九州女子大学 教授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ

	魅惑する〈少女〉—『1Q84』と今日マチ子『COCOON』—	『遠い太鼓』の魅惑—村上春樹の滞欧体験—	「中国行きのスロウ・ボート」論—「言葉」と「夢」の魅惑—	深層に向かう村上春樹作品の魅惑—「悪」の抱擁と新たな「神」の発見—	村上春樹『スプートニクの恋人』における魅惑—「ぼく」とすみれとミユウ—
1125-1135	質疑応答				
1135-1155	発表者 02	発表者 04	発表者 06	発表者 08	発表者 10
	大村 梓 山梨県立大学 講師	清水 泰生 同志社大学 嘱託講師	齋藤 正志 中国文化大学 副教授	米村 みゆき 専修大学 教授	野田 晃生 筑波大学 博士課程後期
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	ガールが表象するもの—『羊をめぐる冒険』を例に—	村上春樹と旅とラソニングとことば	魅惑の傷痕—村上春樹「木野」論—	継承された魅力のありか—アニメーション映画『王と鳥』からみる『騎士団長殺し』—	『スプートニクの恋人』における魅惑
1155-1205	質疑応答				
1205-1310	昼食（良心館1F生協食堂横の廊下）				
1200-1300	司会兼コメンテーター 許 均瑞(銘伝大学 副教授) 論文ポスター発表(良心館 RY407) 発表者①：黄 馨誼(台湾大学 修士課程) 題 目：村上春樹『国境の南、太陽の西』論 —島本さんの「消える」ことを中心に— 発表者②：王 薇婷(広島大学 博士) 題 目：村上春樹「かえるくん、東京を救う」論 —かえるくんの言葉に潜む魅力を中心に— 発表者③：劉 翔(大阪大学 博士後期課程) 題 目：『海辺のカフカ』におけるキャラクターの言語表現及び翻訳の分析 —日中対照研究を通して— 発表者④：文 雪(大阪大学 博士後期課程) 題 目：村上春樹の小説にみる〈女ことば〉、〈男ことば〉の中国語訳について —『海辺のカフカ』を分析対象に— 発表者⑤：佐川 藍(淡江大学 修士課程) 題 目：台湾の若者による村上春樹の印象の一考察 —淡江大学「村上春樹講座」の学生を対象に—				
1310-1415	論文口頭発表(2)				
	第6セッション	第7セッション	第8セッション	第9セッション	第10セッション
	RY408	RY409	RY410	RY411	RY412
1310-1315	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	高橋 由貴	王 志松	王 佑心	林 雪星	米村 みゆき

	福島大学准教授	北京師範大学教授	銘伝大学副教授	東呉大学教授	専修大学教授
1315-1335	発表者 11	発表者 13	発表者 15	発表者 17	発表者 19
	小島 基洋 京都大学准教授	落合 由治 淡江大学教授	鄒 波 復旦大学副教授	石川 隆男 台湾大学兼任講師	頼 振南 輔仁大学教授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	ユミヨンさんの魅惑—初期四部作における〈転生〉の詩学—	村上春樹作品の語りの構造	先進産業社会における「暴力」の記号学—村上春樹『パン屋を襲う』を中心に—	『国境の南、太陽の西』の魅惑の場—「始」と島本との間—	村上春樹『海辺のカフカ』と『竹取物語』—メタファーの原点をめざして—
1335-1345	質疑応答				
1345-1405	発表者 12	発表者 14	発表者 16	発表者 18	発表者 20
	江口 真規 秋田県立大学 助教	范 淑文 台湾大学教授	李 娟 立命館大学大学院 博士課程後期	葉 菱 熊本大学博士	内田 康 淡江大学助理教 授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	羊に取り憑かれた者たち—村上春樹作品における羊の「魅惑」—	村上春樹『国境の南、太陽の西』に描かれる女性の魅惑—漱石『三四郎』と比較しつつ—	村上春樹「カンガール—通信」論—その魅惑的な同時存在の世界をめぐって—	村上春樹『アフターダーク』における魅惑と恐怖—浅井姉妹を対象にして—	村上春樹文学と阿闍世コンプレックス—〈魅惑〉を起動させるもの—
1405-1415	質疑応答				
1415-1425	ティータイム (良心館 R319)				
1425-1530	論文口頭発表(3)				
	第 11 セッション	第 12 セッション	第 13 セッション	第 14 セッション	
	RY408	RY409	RY410	RY411	
1425-1430	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	
	鄒 波 復旦大学 副教授	山内 信幸 同志社大学 教授	頼 雲莊 東呉大学 副教授	周 玉慧 中央研究院 研究員	
1430-1450	発表者 21	発表者 23	発表者 25	発表者 27	
	高橋 由貴 福島大学 准教授	楊 炳菁 北京外国語大学 副教授	山根 由美恵 広島国際大学 非常勤講師	住田 哲郎 京都精華大学 専任講師	
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	
	「ドライブ・マイ・カー」論—村上春樹小説における機械の中の幽霊の魅惑—	村上春樹文学における「魅惑」—『風の歌を聴け』における「高校のクラ	生き直される「サイババー」の生—「海辺のカフカ」におけるナカタ章	『1Q84』・ふかえりのキャラクター翻訳に関する考察	

	惑—	ス・メート」を中 心に—	の〈魅惑〉—	
1450-1500	質疑応答			
1500-1520	発表者 22	発表者 24	発表者 26	発表者 28
	王 佑心 銘伝大学 副教授	廖 育卿 淡江大学 副教授	劉 曉慈 熊本大学 博士課程後期	王 志松 北京師範大学 教授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	村上春樹超短編作 品における魅惑の 表象—「青が消え る」から考える—	村上春樹作品にお ける「悪女」の魅 惑—「島本さん」 と「エム」を中心 に—	村上春樹『ねじま き鳥クロニクル』 試論—「加納クレ タ」との関わりを めぐって—	村上春樹与当代中 国—以林少华的译 介为视角— 【発表言語：日本語】
1520-1530	質疑応答			
1530-1540	ティータイム（良心館 RY319）			
1540-1610	<p>パネルディスカッション(1)(良心館 RY304)</p> <p>テーマ 村上春樹文学における「魅惑」</p> <p>司会 邱 若山(静宜大学副教授)</p> <p>パネラー①沼野 充義(東京大学教授)</p> <p>パネラー②宮坂 覺(フェリス女学院大学名誉教授)</p> <p>パネラー③Jonathan Dil(慶應義塾大学准教授)</p> <p>パネラー④楊 炳菁(北京外国語大学副教授)</p> <p>パネラー⑤齋藤 正志(中国文化大学副教授)</p>			
1610-1640	討論			
1730-1930	<p>懇親会</p> <p>京都ガーデンパレス</p> <p>(京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605 http://www.hotelgp-kyoto.com)</p>			
二日目 2017年7月9日(日曜日)				
0930-1010	<p>基調講演(3)(良心館 RY304)</p> <p>司会 曾 秋桂(台湾日本語教育学会理事長 淡江大学村上春樹研究センター長)</p> <p>講演者 沼野 充義(東京大学教授)</p> <p>演題 「人間ならざる者たち」の魅力と恐怖—村上文学における動物—</p>			
1010-1050	<p>基調講演(4)(良心館 RY304)</p> <p>司会 Sheng-yen Yu(National Taipei University of Technology)</p> <p>講演者 Matthew Strecher(上智大学教授)</p> <p>演題 Murakami Haruki's "Charm" and the "Empty Narrative"</p>			
1050-1100	ティータイム（良心館 RY319）			
1100-1205	論文口頭発表(4)			

	第 15 セッション	第 16 セッション	第 17 セッション	第 18 セッション	第 19 セッション
	RY408	RY409	RY410	RY411	RY412
1100-1105	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	張 桂娥 東呉大学 副教授	櫻原 修 広島大学 名誉教授	范 淑文 台湾大学 教授	Jonathan Dil 慶應義塾大学 准教授	山下 明昭 香川大学 教授
1105-1125	発表者 29	発表者 31	発表者 33	発表者 35	発表者 37
	高橋 龍夫 専修大学教授	柳原 暁子 北九州市立松本清 張記念館学芸員	曾 秋桂 淡江大学教授	Sheng-yen Yu National Taipei University of Technology Professor	DALMI KATALIN ダル ミ・カタリン 広島大学職員
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	「納屋を焼く」論 —80 年代繁栄に 潜む魅惑と疑惑—	村上春樹と松本清 張—昭和の終焉と 呪術の世界—	「女のいない男」 の延長線として読 む『騎士団長殺し』 の魅惑—日本東大 震災への思いを馳 せて—	A Close Rendition of Life: The Charm of Sexual Verisimilitude and the Problem of Moral Ambiguity in Haruki Murakami's Norwegian Wood 【発表言語：英 語】	村上春樹文学に おける「魅惑」 (charm)—ハン ガリーにおける 村上春樹受容に ついて—
1125-1135	質疑応答				
1135-1155	発表者 30	発表者 32	発表者 34	発表者 36	発表者 38
	佐藤 敬子 元・横浜市立大学 看護短期大学 兼任講師	葉 蕙 マレーシア拉曼大 学講師	浅利 文子 法政大学大学院国 際文化研究科 兼任講師	林 裕二 西南女学院大学 教授	権 慧 東京大学 博士課程
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	火付けの魅惑—村 上春樹「納屋を焼 く」論—	村上春樹文学にお ける女性表象—魅 惑の女たちをめぐ って—	『騎士団長殺し』 の魅惑を探る	ノルウェイの森研 究—読ませる魅惑 —	中国語訳・韓国語 訳からみる村上 春樹文学の受容 —「ドライブ・マ イ・カー」を中心 に—
1155-1205	質疑応答				
1205-1300	昼食（良心館 1F 生協食堂横の廊下）				
1300-1405	論文口頭発表(5)				
	第 20 セッション	第 21 セッション	第 22 セッション	第 23 セッション	

	RY408	RY409	RY410	RY411	
1300-1305	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	
	林 裕二 西南女学院大学 教授	蔡 佩青 静岡英和学院大学 准教授	羅 暁勤 銘伝大学 副教授	王 嘉臨 淡江大学 助理教授	
1305-1325	発表者 39	発表者 41	発表者 43	発表者 45	
	仁平 政人 弘前大学専任講師	周 玉慧 中央研究院研究員	孫 寅華 淡江大学副教授	山下 明昭 香川大学教授	
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ	
	「箱」の翻訳 —村上春樹における 〈ハードボイルド〉の 方法—	日本における現代 若者がパートナー に求めるもの—村上 春樹《女のいない 男たち》を読む—	朗読を通しての村 上文学の魅惑—非 日本語専攻クラス の試み—	谷崎潤一郎と村上 春樹そして丸谷オ ー	
1325-1335	質疑応答				
1335-1355	発表者 40	発表者 42	発表者 44		
	Jonathan Dil 慶應義塾大学 准教授	許 均瑞 銘伝大学副教授	劉 妍 北京外国語大学 講師		
	テーマ	テーマ	テーマ		
	Behind Male Charm: From Gatsby to Gotanda 【発表言語：日本語】	21世紀における若 者を魅惑するアイ ドルの条件—村上 春樹の人気から想 起されるものとは 何か—	“大众文学”作家 村上春樹的魅力 —从横光利一《純 粹小说论》看《刺 杀骑士团长》— 【発表言語：日本語】		
1355-1405	質疑応答				
1405-1415	ティータイム（良心館 RY319）				
1415-1445	報告(良心館 RY304) 司会 曾 秋桂(淡江大学村上春樹研究センター長・台湾日本語教育学会理事長) 1. 「私と村上春樹」ショートムービーコンクール入賞発表会 2. 「村上春樹名作多言語朗読コンテスト」入賞者発表会 3. 「2018年第7回村上春樹シンポジウム」開催地の紹介 4. 「2018年第7回村上春樹シンポジウム」メインテーマの説明				
1445-1510	パネルディスカッション(2)(良心館 RY304) テーマ 村上春樹最新作『騎士団長殺し』をめぐって パネラー兼司会 曾 秋桂(台湾日本語教育学会理事長 淡江大学村上春樹研究センター長) パネル講演 柴田 勝二(東京外国語大学教授)				

	演題 〈私〉に帰る物語—『騎士団長殺し』と寓意の脱落
1510-1530	パネラー① 柴田 勝二(東京外国語大学教授) パネラー② 金水 敏(大阪大学教授) パネラー③ 高橋 龍夫(専修大学教授)
1530-1600	討論
1600-1610	閉幕式(良心館 RY304) 曾 秋桂(淡江大学村上春樹研究センター長・台湾日本語教育学会理事長)
0900-2000	三日目 2017年7月10日(月曜日) 文学と風土をめぐる見学

主催 (台湾)淡江大学村上春樹研究センター

共催 (日本)同志社大学

助成 国際交流基金

後援 (日本)日本台湾交流協会・日本比較文化学会・広島法瀧寺

(台湾)淡江大学日本語学科・淡江出版センター・台湾日本語教育学会・台湾日本語
文学会

参加申し込みサイト <http://www.harukistudy.tku.edu.tw/news/news.php?Sn=175>

お問い合わせ 電話 +886-2-26215656 内線 2340・2341・2492(王嘉臨先生)・2958
(淡江大学日本語学科、日本語も可能です)

メール 王嘉臨事務局長 137176@mail.tku.edu.tw

説明 お申し込みされた方には、会議資料、お弁当、御茶をご用意いたします。
準備の関係上、7月5日(水)までにお申し込みいただきますよう、お願い
いたします。なお、申し訳ございませんが、当日のお申し込みへの対応
はいたしかねますことを、よろしくお含みおきください。